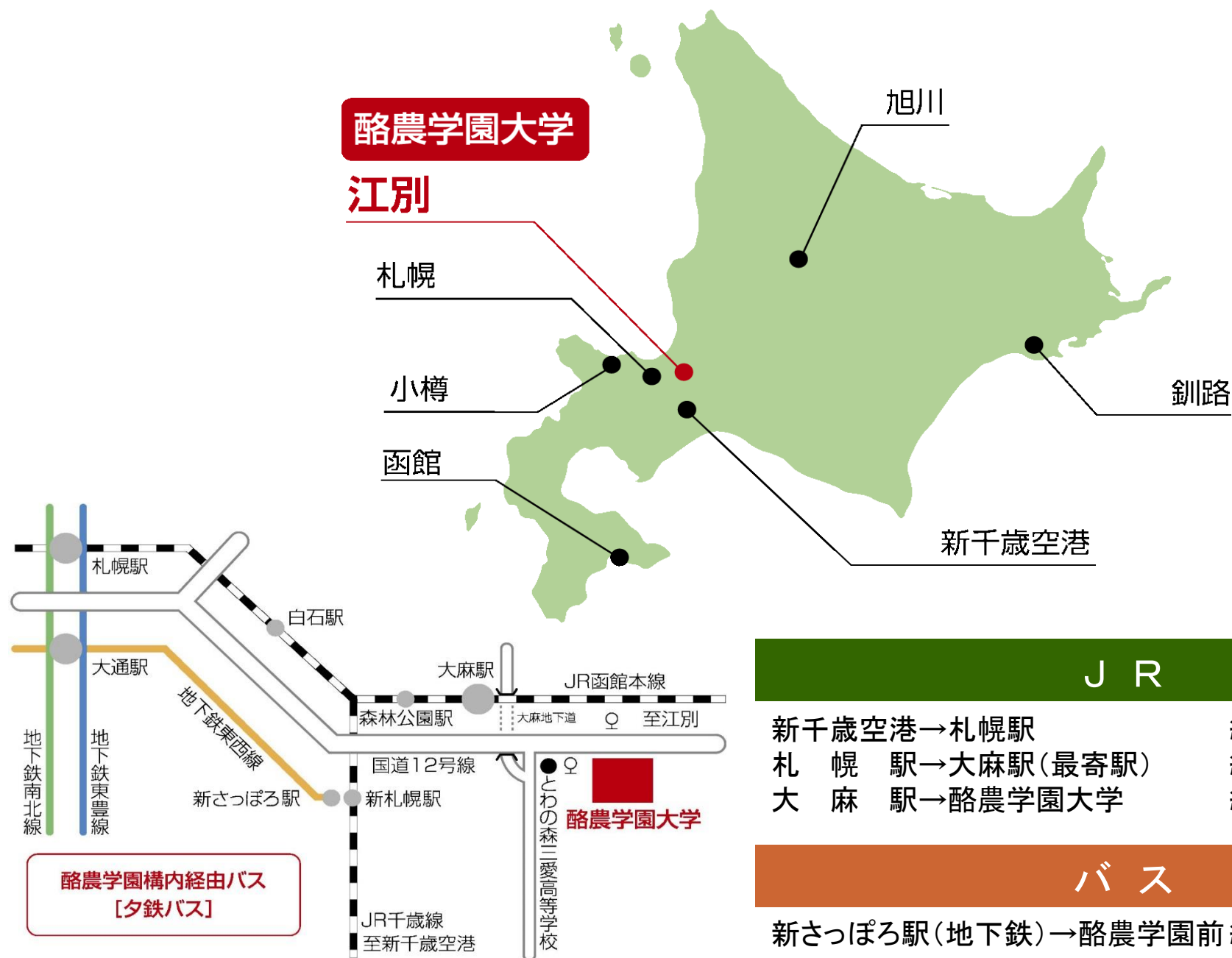




酪農学園大学 学術研究コレクション CLOVERの事例報告

2020年3月17日 JPCOAR総会

酪農学園大学附属図書館 廣田政則



J R

新千歳空港→札幌駅	約40分(JR快速)
札幌駅→大麻駅(最寄駅)	約17分
大麻駅→酪農学園大学	約15分(徒歩)

バス

新さっぽろ駅(地下鉄)→酪農学園前 約15分(バス)

北海道立
野幌総合運動公園

道立自然公園
野幌森林公園
(約2000ha)

附属動物医療センター

講義棟・研究棟

清温寮(女子寮)

希望寮(男子寮)

酪農生産ステーション

附属図書館

作物生産ステーション

キャンパス面積
(約135ha:東京ドーム28個分以上)

学びの枠を超え、より広く、自由に自分の可能性を追求できる 学群・学類・コース制

農食環境 学群



循環農学類

酪農学コース

畜産学コース

農学コース

農業経済学コース



食と健康学類

教職コース

食品機能科学コース

食品開発学コース

食品流通学コース

管理栄養士コース



環境共生学類

野生動物学コース

生命環境学コース

獣医学群



獣医学類



獣医保健看護学類

氏名 : 廣田 政則 (ひろた まさのり)

経歴 : 2005年10月 システム支援課 配属
財務システム・グループウェア・
共有フォルダ・職員PC管理などを担当

2011年4月 情報システム課 配属
学内LAN更新・ライセンス管理・
PCフロア更新などを担当

2014年4月 附属図書館 事務課 配属

資格 : 情報処理安全確保支援士、応用情報技術者、
第1級陸上無線技術士、電気通信主任技術者資格
データベーススペシャリスト、
ネットワークスペシャリストなど

※ 司書資格は持っていません

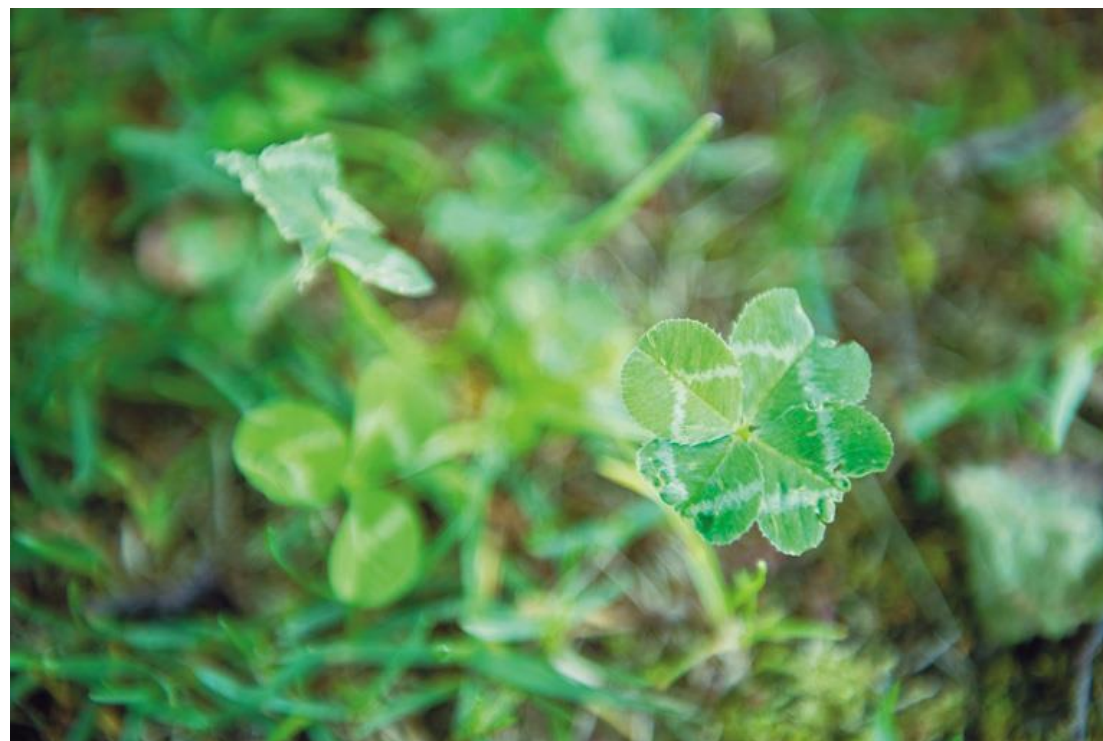
酪農学園大学の機関リポジトリは、



学術研究コレクション CLOVER と呼んでいます。

クローバーは、牛から連想される代表的な牧草です。

その繁殖力の強さと栄養分の豊かさにあやかり、本学の研究が実り多きものとなり、まさしく栄養素として社会に貢献するものでありたい、という願いを込めました。



<https://rakuno.repo.nii.ac.jp/>



酪農学園大学学術研究コレクション

Collected Literature in Organized and Valuable Electronic Repository

WEKO

トップ

ランキング



検索

▶ 詳細検索

☒ 全文検索 ☐ キーワード検索

Language

日本語



インデックスツリー



[-] 1 : 大学

+ 1. 農食環境学群

+ 2. 獣医学群

+ 2 : 大学院

+ 3 : Research of One Health

+ 4 : 酪農学園大学紀要

インデックスリスト

1 : 大学 [4224件]



2 : 大学院 [154件]



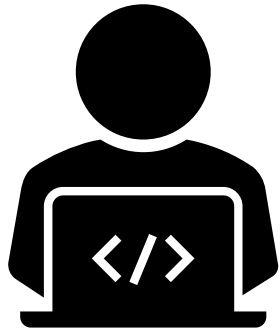
3 : Research of One Health [18件]



4 : 酪農学園大学紀要 [1307件]



1. 大学教員



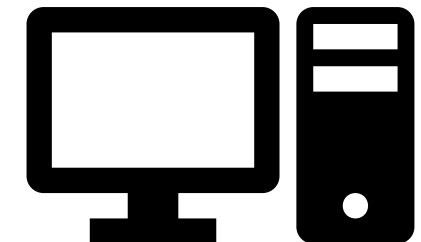
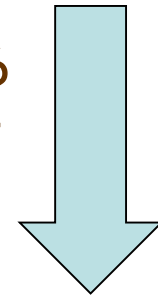
手入力



2. JST(科学技術振興機構)の 研究者データベース

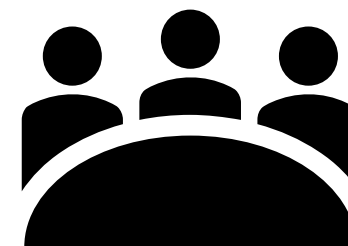
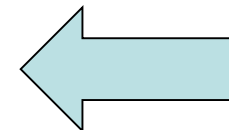
▶researchmap

APIによる
自動連携



3. 教員総覧サーバ

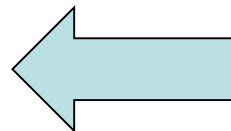
CSV出力



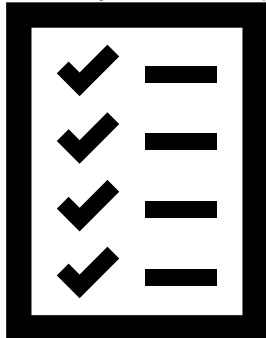
4. (株)アグレックス

- ・許諾取得
- ・論文入手
- ・掲載作業

手入力



CLOVER
Collected Literature in Organized and Valuable Electronic Repository



5. CLOVER (機関リポジトリ)



廣田 政則

ヒロタ マサノリ (Masanori Hirota)

更新日: 02/07

カバー写真の追加

研究キーワード

研究分野

社会貢献活動

外部システムからのデータ取り込み

エクスポート

インポート

設定

メニュー



マイポータル



研究ブログ

資料公開

参加コミュニティ一覧



NO IMAGE

機関担当者向け説明

会09 147

外部システムからのデータ取り込み

以下の外部システムから業績リストを取り込みます。

論文・Miscの取り込み

- [DBLP](#)
- [PubMed](#)
- [ORCID](#)
- [Web of Science](#)
- [CiNii Articles](#)
- [arXiv](#)
- [Scopus](#)
- [医中誌Web](#)

書籍の取り込み

researchmapとは、JST(科学技術振興機構)が運用するデータベース型の研究者総覧です。

▶researchmap

酪農学園大学では、
全教員がresearchmapのアカウントを持っています。
新任教員に対し、アカウントを作るように強制します。

<https://researchmap.jp/>

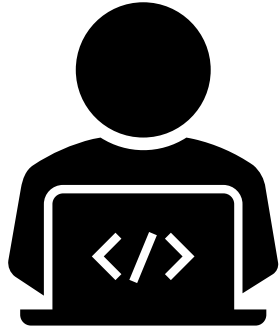
メリット

- ・CiNii, Web of Science, PubMedなどを参照できるため、論文タイトルのタイプミスが少なくなる
- ・利用料が無料
- ・公のデータベースであり、学内からのカスタマイズ要求がない
- ・入力用インターフェースやデータベースのバックアップを学内に置く必要がない
- ・(教員にとって)入力したものが研究費傾斜配分や昇格審査の要件となる
- ・(教員にとって)入力したものは他大学へ移籍しても消えない
- ・(教員にとって)入力作業は、自宅などの学外からでも可能

デメリット

- ・教員自身でアカウントを作るときに科研費番号が必要
または、招待メールを科研費番号のない新任教員へ送る必要がある

1. 大学教員



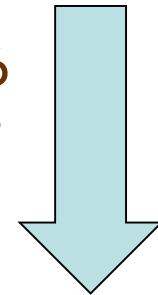
手入力



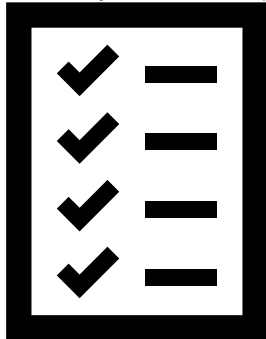
2. JST(科学技術振興機構)の 研究者データベース

▶researchmap

APIによる
自動連携

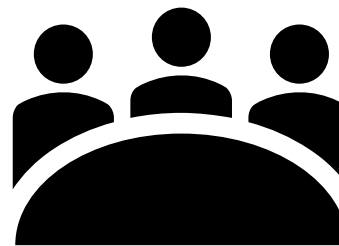
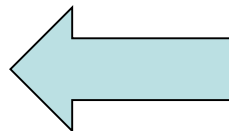


CLOVER
Collected Literature in Organized and Valuable Electronic Repository



5. CLOVER (機関リポジトリ)

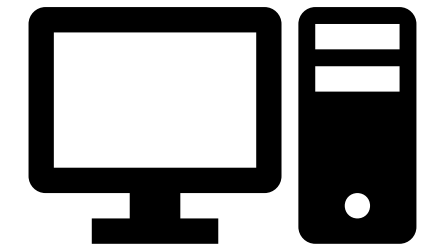
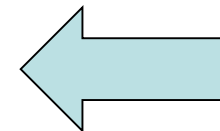
手入力



4. (株)アグレックス

- ・許諾取得
- ・論文入手
- ・掲載作業

CSV出力



3. 教員総覧サーバ

このような画面でWeb上で公開しています

[詳細検索はこちら](#)

所属から探す

下記の学類アイコンから各学類の一覧を表示します。



研究分野から探す



教員総覧サーバは、メディアフュージョン社の
「MF教員業績管理システム ライトパック」を使用しています。

これにより、学外への教員業績の公開を行っています。

酪農学園大学教員総覧: <http://souran.rakuno.ac.jp/search/index.html>

メリット

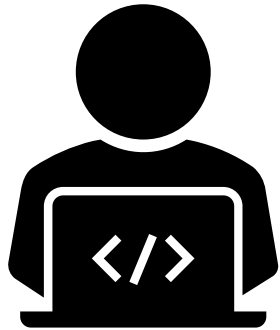
- ・researchmapのAPIを利用して、毎日データを更新できる
- ・その更新したデータがそのまま、公開される教員総覧の表示項目となる
- ・操作があまり必要ない(新任・退職教員の追加・削除、データのCSV出力のみ)
- ・データをCSV出力して、研究費傾斜配分や業績集などに流用できる
- ・ライトパックは入力インターフェースがなく、メンテナンスの必要がほぼない

デメリット

- ・サーバ機器をどこかに用意する必要がある
(極力手間を省きたいなら、レンタルサーバなどが良いかも)

参照: <https://www.mediafusion.co.jp/light/>

1. 大学教員



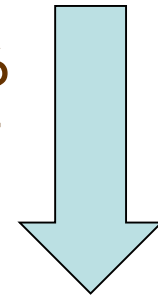
手入力



2. JST(科学技術振興機構)の 研究者データベース

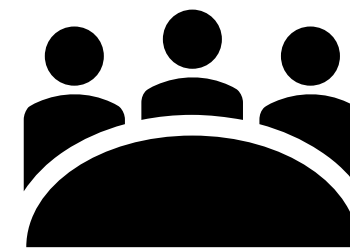
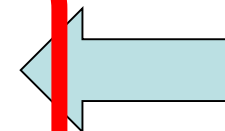
▶researchmap

APIによる
自動連携



3. 教員総覧サーバ

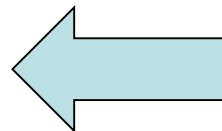
CSV出力



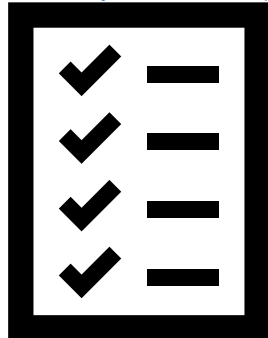
4. (株)アグレックス

- ・許諾取得
- ・論文入手
- ・掲載作業

手入力



CLOVER
Collected Literature in Organized and Valuable Electronic Repository



5. CLOVER (機関リポジトリ)

教員総覧から図書館職員が出力したCSVデータ(論文・MISC)により、
リポジトリ掲載許諾取得・掲載論文入手・CLOVERの登録は
(株)アグレックス札幌事業所へ依頼しています。

CSVデータに基づき、前年分について**総当りで許諾取得の依頼**をかけ、
許諾を得られて論文入手ができたものを全て掲載しています。

(株)アグレックス: <https://www.agrex.co.jp/>

メリット

- ・職員1名を図書館で通年で雇用するより、かなり安い
(重複調査、許諾取得、メタデータ、登録など1件毎の見積で、その累積額が請求される)
- ・出版社・学会ごとの条件(エンバーゴ、著者最終稿のみ転載可など)に詳しい
- ・著者への許諾取得も同時に行っている
- ・紀要論文や博士論文についても、アップロードを依頼している

デメリット

- ・職員のスキルは育たない
- ・アグレックスが教員から入手できない論文は、図書館へ入手依頼が来る

これらのやり方の組み合わせには、以下の特徴があります

1. 原則、前年の教員の業績は**全て CLOVER に掲載を試みる**

→ 許諾取得できないもの、論文入手できないものを除く

2. **費用負担が最低限に近い**

→ 教員総覧のサーバ・システム導入運営費、
(株) アグレックスへの委託費、JAIRO Cloud利用料

3. **手間があまりかからない**

→ リポジトリ転載の条件確認、許諾取得の交渉、
エンバーゴの管理、教員総覧サーバのメンテナンスは
学外の会社へ依頼している

このやり方で運用するために、**追い風**になったと考えること

1. **理系(自然科学系)の大学**であること

→ 英語論文の割合が相対的に多いのではないか？（印象）
そのためWeb of Scienceからの論文捕捉率が高いのかも
ヒグマ・エゾシカなど、北海道ならではの論文題材もある

2. researchmapの利用を、**学長が理解**してくれたこと

→ 評議会など学内会議でも承認されてから進めたので、
運用変更について図書館へのクレームはなかった

3. **教員のメリットを提示**できたこと

→ 業績入力(提出)を1か所に統一して、手間を削減した
入力に応じて、研究費傾斜配分の増額を狙える

現在のやり方の問題点

1. 教員総覧の実績から、CLOVER のリンクがない

→データの流れ方向から、自動ではできない
もしするのなら、手作業でリンク作成作業が必要

2. CLOVER 登録まで、時間がかかる

→研究費傾斜配分の締切期日前(2月)に入力が集中する

→どうしても急ぐ場合は「CLOVER登録申請書」を記載して
データとともに提出してもらう運用としている

3. 掲載許諾を取得できないものが多い → 次ページへ

掲載許諾を取得できない論文・報文等が多い（専任教員 約180名）

（件）

年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	平均
全体件数 （重複なども含む）	450	575	588	597	691	436	556.2
登録 （メタデータ・PDF）	104	75	190	105	151	225	141.7
メタデータのみ登録 （許諾不可・返信無）	258	418	401	307	239	433	342.7
PDFのみ登録 （返信無がOKに）	4	3	26	2	0	2	6.2

※ 全体件数と登録などの件数合計が一致しないのは、
共著重複・前年分の作業・エンバーゴ・連絡先不明・教員退職などの要因による

※ 過去6年でPDF付きで登録したのは25%ほどで、残り75%は掲載許諾を得られず
ただし、学位論文・紀要論文は上記数値に含んでいない

ご高覧いただき、ありがとうございました。

グリーンOAが、将来さらに身近になるように願っております。

ご参考になれば幸いです。



RAKUNO GAKUEN UNIVERSITY

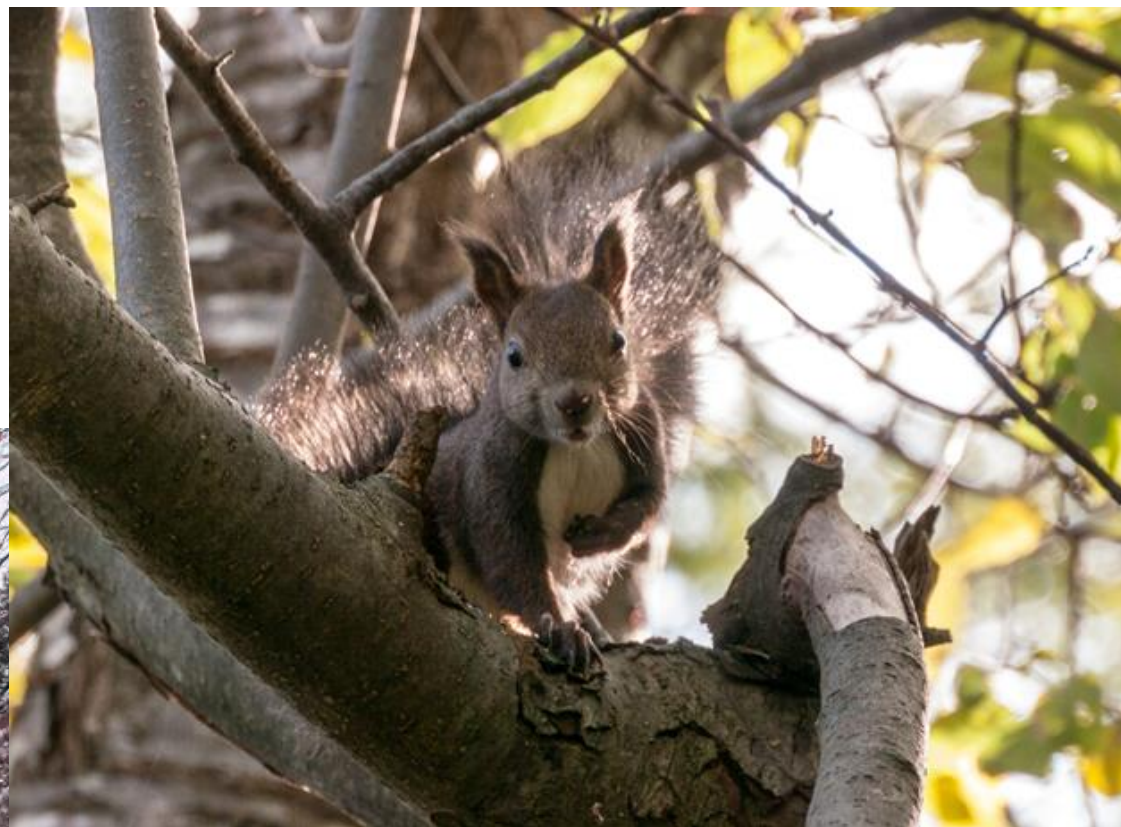
酪農学園大学



この建物の3～7階が附属図書館



江別市都市景観賞を受賞した旧精農寮



エゾリスへの注意を促す道路標識